

# なごやの学童保育

市連協ニュース No7

2022 年度・11 月 2 日発行  
 名古屋市学童保育連絡協議会  
 TEL (052) - 872 - 1972  
 FAX (052) - 308 - 3324  
 E-Mail: info@gakudou-nagoya.org

HP <http://gakudou.kodomo.co/> Facebook <https://www.facebook.com/NagoyaNoGakudouHoiku>

## 巡回等、更なる支援を検討

### 市が要望に回答

名古屋市学童保育連絡協議会（市連協）は 10 月 12 日、名古屋市会学童保育議員連盟（議連）とともに名古屋市への要望を提出（写真）し、「巡回アドバイザー配置等」への要望に「更なる支援も検討する」など一部で前向きな回答を受けました。

#### 【要望と回答の概要】

1. 国へ働きかけてください
  - ①運営費・基本額を増額
  - ②指導員勤務を 1 日 8 時間に
  - ③補助算定を（児童の数ではなく）登録児童数で
  - ④年間開所日数 250 日未満への補助制度充実
  - ⑤指導員の処遇改善関係の補助金拡充
  - ⑥事業実施期間中の土地代補助新設
 （回答）要望していきたい
2. しょうがい児受け入れなどに指導員研修等を充実
 （回答）研修充実など障害児受入支援を充実したい
3. 指導員が必要時に PCR 検査を受診できるように
 （回答）感染症拡大防止支援に努めたい
4. 努力目標の非常食 3 食分が備蓄できる方策を
 （回答）小規模倉庫購入などの既存助成活用を
5. 補助金への立て替え払いが少なくなる方策を
 （回答）一部支払い方法を工夫する（前払いは不可）
7. 巡回アドバイザー配置助成の検討を
 （回答）これまで研修を実施。今後更なる支援も検討
8. 法人化の制度は、営利法人を除き、合同運営にともなう場合をはじめ、慎重に段階的に財政的支援等も合わせて検討してください
 （回答）課題整理や制度設計など必要。施策実現に向け対応に努めたい

※市との事前調整により市連協ニュース 9 月号に掲載した「要望」から一部項目を変更しました。

コロナ禍のため、出席者は市連協、議連とも役員のみになり、各区からの声は事前に文章で提出しました。全体で 1 時間の懇談を 2 部構成とし、第 1 部では要望を提出し回答と副市長のコメントを受けました。巡回アドバイザー等の検討、助成金の支払い方法（申請

から支払いまでの期間など）の検討は成果です。



第 2 部では市の担当者と、回答に対する質疑応答をしました。非常食の備蓄に小規模倉庫等の助成金の活用を求める回答に対しては、水の備蓄等も必要で小規模倉庫や棚の設置では不十分である旨を改めて訴えました。合同運営に伴う法人化については、モデルとして法人化をする学童保育所から意見を聞く旨、市が説明をしました。

市担当者との質疑応答の詳細は、関係者によるメモの確認の後、お伝えします。

## 全国学童保育研究集会、開催

「第 57 回全国学童保育研究集会」（全国研、全国学童保育連絡協議会主催）が 10 月 29 日、30 日の両日、オンラインで開催されました。

初日は、学童保育の現状と課題を確認する基調報告、東日本大震災の被災地など 3 市町村からの特別報告、フォトジャーナリスト安田菜津紀さんの記念講演「紛争地、被災地に生きる子どもたち」などがありました。

2 日目は 40 のテーマに分かれ、分科会を開催。保育や運営、行政の施策などの充実に向け、情報や意見を交換し、交流しました。